



Upside Japan
THE TECH INSIDER www.upsidejapan.com

！ホーム！UPSIDEについて！UpsideToday米国版！

！コラム！ビジネスモデル！注目の企業！キーパーソン！業界動向！アジア最新ニュース！ITな暮らし！



注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトランスメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやってくる!
- ・ハイテク株よ、底の底まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれたB2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



Upside Japan / コラム

かぞえ直しが続くあいだに 中村伊知哉@LANTIC【第24回】

2000年11月28日

マレーシアが大統領選挙を監視する!?

ハロウィーン(1)が済むと街はクリスマス態勢に入る。サンクスギビング(2)の頃にはもうその準備でワクワク。のはずなのだが、今回はまだガタガタしている。投票から2週間以上すぎたのに、まだ数えてるからだ。数え方さえも決まらず、すったもんだの裁判合戦だ。

アメリカはいま世界一カッコワリー。ってもんだが、江戸の幕藩体制みたい、フロリダ州の長官やら、ナントカ郡地裁やら州最高裁やら、どこもかしこもあっちの陣営かこっちの陣営で、テレビキャスターもどっちかの陣営で、三権もマスコミもいがみあって、コネ社会まらだしだということが、世界中にばれた。

マレーシアの閣僚が、アメリカはよその国に制度が不完全だからと干渉するクセを直せと言ったらしい。ちゃんと数えるために**国際選挙監視団を受け入れる用意はないか**と当局をムツとさせる質問をした記者がいたらしい。うまいねどうも。歌丸さんと小円遊さんに一枚。

ひとまず景気はいいし平和だし、政治的にはヒマだから、イベントになっちゃって、大統領選も下半身スキャンダルノリだ。みんなクリントンが好きだからな。いつまでも数え続けて現状維持がいいのかもな。日本の内閣安全保障室の人が、どっちに転んでも4年間**数え直し大統領**って呼ばれる、って言っていた。うまいねどうも。

1 ハロウィーン:Halloween, 万聖節(All Saints' Day = 11月1日)の前夜祭で、10月31日にあたる。子供たちが「トリック・オア・トリート」(お菓子をくれなきゃイタズラしちゃうぞ)といって家々を回り、お菓子をもらってくるという日。

2 サンクスギビング:Thanksgiving Day, 米国では法定休日で、11月の第4木曜日にあたる。2000年では11月23日。

バブルの夢消えて働きすぎ訴訟

ウチの子のクラスの母親(ユダヤ系)が担任との面談で、お宅のお子さんはおカネを計算する問題が苦手、と言われたところ憤然として、そりゃ**タクはカードしか使ってない**でも、って切り返した。うまいねどうも。

しかし憤り冷めず、担任にそんなこと言われた、って校長に手紙も出したんだそう。その話を私の隣で聞いていた別の子の父親は、その担任を気に入っていて、対抗する手紙を校長に出すとっていた。カッコワリーねどうも。どっちも座布団とれ。

話し合いが苦手なんだよね彼らは。主張するだけ。当人どうしてカタつけることしないでスグどこかに裁定を求める。オープンなんだけどコストかかるよその分。首相を密室で決める、なんて芸当、彼らには真似できまい。したくないか。

先日、ボストンからワシントンDCに向かう機上で読んだ雑誌に、ドットコム系企業の職員がネット株価の低迷に失望して、**働きすぎ訴訟を起こしている**という記事があった。ストックオプションで億万長者という夢がバブルと消えて、怒ってるわけだ。でも、そんなことも裁判沙汰なんだな。

周りに座ったビジネスマンはみな、機内食として配られたナマのニンジンをかじりながら、ノートパソコンで仕事している。これをエコノミックアニマルという。eアニマル。着陸した瞬間、一斉に携帯電話を耳に当ててしゃべり始めたのもたまげたな。お仕事たいへんね。



アメリカではまだ携帯電話は耳に当てる道具だが、日本では目の前に差し出して読む機械だ。満員電車の中で、おっさんも女子高生も、黙ってケータイを読んでいる姿は、飛行機でニンジンかじってパソコンして耳ケータイより未来的と思う。

クリントンはネットで歴史に名を残す

さて、ホワイトハウスの新しい主は、クリントン政権のIT政策を継承することになる。

クリントンの最大の功績は、好景気を支えたことでも、世界の警察として君臨したことでも、下半身スキャンダルをけちらしたこともない。**インターネット社会を実現したことだ**。人類史の結節点にリーダーとして立っていたことだ。千年後の歴史にも名を残すことだろう。

そこで重要なポイントは、個別の政策の内容ではなく、メディア政策を大統領マターにしたということだ。国家元首が進める重要政策と位置づけたことだ。

ヨーロッパもアジア各国もこれにならば、デジタルを国のトップ政策に据え、大統領や首相が直接メッセージを発するようになった。日本だけがこれに遅れていた。政府が欧米の政策に匹敵するプランを発しても、発表者は郵政大臣や通産大臣であって、元首級でないために、メッセージは海外に伝わらなかった。

日本のネットデバイスはたったの30ドル

うれしいことに、沖縄サミットあたりから状況は変わりだした。日本国首相がIT政策を唱え始めた。たとえITをイットと呼ぼうが、IT講習券とかいう陳腐な内容であろうが、デジタルが首相マターになり、形だけは整い始めた。世界のデジタルデバイドにも何らかの貢献ができそうな気がただよってきた。

2000年7月にクリントン・ゴア政権が発表したところによれば、世界のオンライン人口3億人強のうち、アフリカが占める比率は1%に満たない。電話回線の普及が先進国では100人あたり50本なのに対し、途上国では1.4本にすぎない。20世紀の終わり、まだ世界のデジタル化は本番ではない。

そこでいよいよ問題は中味だ。これも先日行われたMIT・ハーバードの会議で、主催のペントランド教授が冒頭、PDAが700ドルもするのに、**日本の若者は30ドルの機械で手書きメールを送って、スゴイ**、って紹介していた。たしかにスゴい。日本だからこそできる政策や貢献があるはずだ。

中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット、自由を我等に』（アスキー出版局）などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ：<http://www.media.mit.edu/ichiya/jpn.htm>

▶[ある一ヵ月間のドタバタ日記\(12月28日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

▶[オレの声が聞こえたか高橋\(10月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

- ▶ [カッコワリーってモンダガ\(10月4日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)
- ▶ [Re率となんじゃこりゃ度\(9月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

- ▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

(中村伊知哉)

‡ ASCII24 ‡ ASCII24 Business Center ‡ 日刊アスキー Linux ‡ アスキーデジタル用語辞典 ‡
‡ auto-ASCII24 ‡ Shes.net ‡ ASCII Job Serve. ‡ アスキートップ ‡

‡ [個人情報の取扱について](#) ‡ [編集部へのコンタクト\(info@upsidejapan.com\)](mailto:info@upsidejapan.com) ‡ [広告掲載のご案内](#) ‡

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.
All rights reserved.